2026年11月10日

ナムアバンク（NAB）

New-S Wealth Management

《企業紹介》

ホーチミン市を拠点とする著名なベトナム人実業家グエン・チャン氏が仲間と共に、銀行参入自由化直後の1992年に設立した、アジア商業銀行などと並ぶ民間資本としては最も古い商業銀行のひとつである。保守的な融資姿勢が特徴であり、家族経営でありながら、マクロ経済が混乱に陥っても経営危機に瀕するようなことは一度もなかった。2023年にホーチミン市場に株式を公開した。

技術革新や業務改革に積極的に取り組む姿勢は創業者達の起業家精神を受け継いでおり、2019年にベトナム初の人工知能搭載ロボット行員導入を行ったほか、デジタルネイティブ世代をターゲットにしたバーチャルバンキングを積極的に進め、経済成長によって拡大しているベトナムの中産階級や中堅企業をターゲットにした業績拡大戦略を採っている。

《2026年7-9月期業績》

2026年7－9月期の営業収入（以下、収入は全て費用を差し引いた純額）は前年同期比16.1%増の3.0兆VND（ベトナムドン）だった。貸出債権残高は同10.8%増の216.7兆VNDとなったが、資金調達コストの増加が金利収入の増加を大幅に上回り、預貸利ザヤの悪化が続いたため、金利収入は同13.5%減の1.7兆VNDに落ち込んだ。一方、手数料収入は同578.9%増の1.1兆VNDに急拡大している。同社が強力に推進している、24時間365日「有人窓口」と同等の取引サービスを提供する自動デジタル取引拠点「OneBank」が、ベトナム屈指の大手小売チェーンを展開するサイゴンコープの800以上の店舗網に対して決済ソリューションの提供を開始したことから、一般消費者の日常的なトランザクションを取り込むことに成功し、爆発的な手数料収入の増加を達成した。

税前利益は同23.8%増の1.5兆VNDだった。営業費用が同12.9%増の1.0兆VNDに抑制されたこと、貸倒引当金が同3.0%減の3,454億VNDに減少したことから、営業収入を上回るペースでの増益となった。純利益は同23.0%増の1.2兆VNDとなった。厳しさを増す貸出競争からは距離を置き、デジタル技術を駆使した独自の金融サービスによって利益成長を継続している。

図表1　四半期業績の推移（単位　十億VND）

	2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1－3月期		2026年4-6月期		2026年7-9月期	
		前年同期比（%）		前年同期比（%）		前年同期比（%）		前年同期比（%）		前年同期比（%）
営業収入	2,595.7	15.4	3,946.5	56.8	2,306.7	1.2	2,836.4	4.6	3,014.0	16.1
（うち金利収入）	2,054.8	2.7	2,327.6	15.7	2,072.0	-1.9	2,227.4	5.0	1,777.8	-13.5
（うち手数料等収入）	173.7	44.9	135.4	-2.5	147.7	16.2	300.1	97.5	1,179.5	578.9
（その他収入）	367.2	185.5	1,483.5	305.7	87.1	112.1	308.9	-29.5	56.7	-84.6
営業費用	948.2	2.2	1,251.7	-6.5	897.3	10.0	1,181.7	47.3	1,070.1	12.9
貸倒引当金	356.3	66.0	1,252.6	-	-233.6	-197.3	139.0	-77.4	345.4	-3.0
税前利益	1,291.2	16.7	1,442.1	18.0	1,642.9	34.2	1,515.8	17.0	1,598.4	23.8
純利益	1,031.4	18.5	1,140.1	17.9	1,310.9	34.3	1,209.8	16.9	1,268.9	23.0
貸出債権残高	195,579.9	21.0	195,333.0	17.9	199,073.5	13.4	216,588.7	13.8	216,759.3	10.8
貸倒比率(年換算、%)	0.7	-	2.6	-	0.9	-	0.9	-	0.9	-

注1　収入は全て対応費用を差し引いた純額
注2　貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高×4（年換算）で計算(%)
注3　2025年10－12月期の数値は2025年12月期の監査済み決算数値をもとに計算した数値である
出所　会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長（金商）第138号】
加入協会　日本証券業協会　一般社団法人資産運用業協会　　有効期限作成日より180日　　News20261110
主な事業　金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク（カウンターパーティーリスク）、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

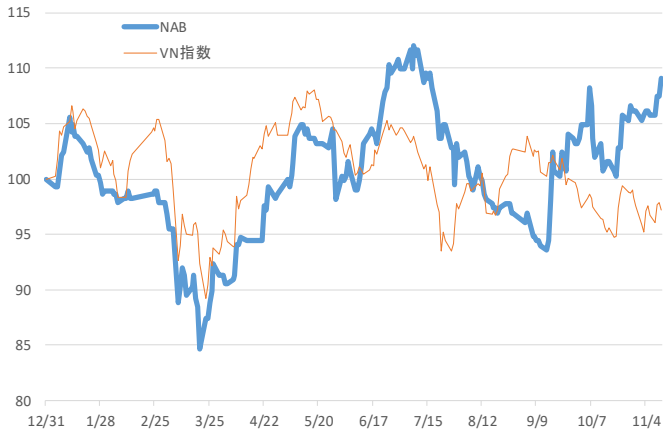
ナムアバンク（NAB）

New-S Wealth Management

《株価の動向》

同社の株価とVN指数を、2025年末終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。同社の株価は2026年の年初からVN指数とほぼ連動するような動きを示している。9月下旬以降はVN指数が停滞する一方で、やや堅調な動きをみせ、アウトパフォームとなっている。2025年末に対する11月12日終値時点の変動率はVN指数の3%の下落となっているが、同社は6%の上昇となっている。11月12日終値13,000VNDベースの時価総額は28.0兆VNDであり、それは2025年12月期実績の純利益4.1兆VNDに対して6.8倍の水準となっている。

図表2　株価推移



出所 各種データをもとに当社作成

厳しい貸出競争に加え、貸出を増やすための資金調達も困難になりつつあり、同社も貸出債権残高の増加の一部を他の金融機関からの借入でカバーするようになっている。預貸利ザヤの改善が難しい状況にあって、同社はデジタル技術を軸とした独自の成長路線を示し始めている。これが顧客の囲い込み、預金や小口貸し出しの増加などを通して同社の事業全体にどのように影響するのか、今後注意深く見守る必要があるだろう。

ニュース証券株式会社【関東財務局長（金商）第138号】
加入協会　日本証券業協会　一般社団法人資産運用業協会
主な事業　金融商品取引業
有効期限作成日より180日
News20261110

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク（カウンターパーティーリスク）、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。